



かわら版

最上小国川流水型ダム



平成28年9月号

第16号

平成28年9月22日発行

【発行元：前田・飛島・大場JV】

ごあいさつ

9月も下旬となりました。今年は残暑が厳しく、9月に入っても真夏日となる日が続きましたが、次第に暑さも落ち着き、秋の気配を感じられるようになりました。過ごしやすい季節となって参りましたが、皆さまいかがお過ごしでしょうか。

季節の変わり目は体調を崩しやすい時期です。お風邪などお召しになりませんようお気を付け下さい。



ダム用仮設備全景

工事進捗状況

現在、基礎掘削工事も左右岸とも低標高部まで掘削が進んでいます。

掘削の進捗とともに掘削残土の運搬も行っています。残土運搬の効率を向上させるために通常の公道を走る10tダンプトラックよりも更に大きい重ダンプトラック(10tダンプ約4台分の運搬量)を使用して残土を搬出しています。



基礎掘削工事状況

また、ダム用仮設備も完成し、堤体コンクリート打設に向けて事前に試験的にコンクリート製造を行いました。

実際に現場でコンクリートを製造してみてコンクリートの品質に問題ないことを確認しています。



重ダンプトラックによる残土運搬



コンクリートの試し練り

9月の出来事

赤倉小学区大運動会

9月11日(日)に赤倉小学区の大運動会が開催され、当作業所職員も一緒に応援させて頂きました。爽やかな秋空のもと、あかくら幼稚園・赤倉小学校の児童の皆さんが徒競走や綱引きなどの競技を行い、歓声や声援で盛り上がりました。一生懸命頑張る姿に胸を打たれる、素晴らしい運動会でした。



今月号から新入社員の鈴木がこのコーナーを担当します！

新入社員奮闘記



今年5月から現場で働いている鈴木です。早いものでこの現場に来てから4ヶ月が経ちました。赤倉での生活にも慣れ、自分の仕事が、ダム工事を進める上でどのような役割を担っているのか、絶えず考えながら仕事をしています。

そんな私が今主に行っている仕事は堤体基礎掘削の測量です。設計通りに掘削できているかを測量を行い、常に確認しています。重要な仕事であり、難しく、挫けそうになることもあります。恐れず我武者羅に頑張っていきます。

発注者：山形県最上総合支庁
施工者：前田・飛島・大場JV
連絡先：〒999-6105
山形県最上郡最上町大字富澤
字菅ノ平3780-1
TEL 0233-46-3430
FAX 0233-46-3431
ホームページ
<http://mogamiogunigawa-jv.jp/>

安全・品質・環境を優先した作業を行っていきます。ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力、よろしくお願いいたします。ご意見、ご感想などがありましたら、気軽にお声を掛けてください。